

市長から市民のみなさんへ

85

山陽小野田市長 白井 博文

サポート寄附の呼びかけをお願いします

例えば、都会で暮らしている方が、ふるさとの市に寄附を行えば、それを住所地で納税したとみなす、通称"ふるさと納税"。本市ではそれを「サポート寄附」と名付け、これまでも広報等でPRを行ってきましたが、早くも全国各地から善意の浄財が届いています。4ページの記事にありますように、本市出身の女性、誰もが知っているプロ野球選手の奥様であり、ご自身もフリーアナウンサーとして活躍されている方からの寄附には、「子育てに役立ててください」とメッセージが添えられていました。制度の趣旨にご賛同いただき、ご好意をお寄せいただいた皆様にこの場を借りて感謝の意を表します。

誕生して3年半、本市は新市の"産みの苦しみ"から脱却し、"育ち"の時を迎えていることを実感できるまでになりました。教育、文化、産業など様々な分野で市民の"元気"を感じる機会も多くあります。"再生"に向かいつつある市を、真の意味での「活力ある住み良さ創造都市」に発展させていくため、そして、みなさんのふるさとを思う気持ち、ご期待を裏切らないためにも貴重な財源として有効に使わせていただきます。

市民のみなさんにおかれましては、年末年始に帰省されるご家族、ご親戚、ご友人に「山陽小野田市を応援してください」のお口添えとともに、サポート寄附をPRしていただければうれしく思います。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



12月11日(木)港町自治会館

12月25日(木)寝太郎町公会堂

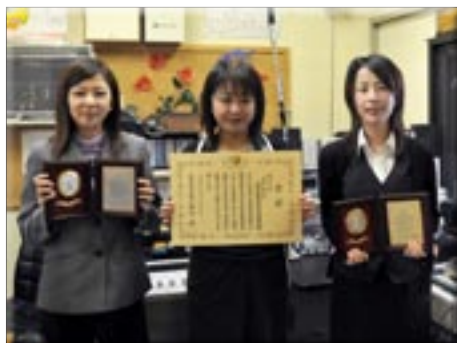
市民と市役所の架け橋 広報広聴課

市役所の広報広聴課には、広報紙の編集業務を行う広報係と市民のみなさんからのご意見、ご要望等を受け付ける広聴係という2つの係があります。今回の広報では、広聴係に市民のみなさんからお寄せいただいた声をご紹介します特集記事を掲載しています。

市役所は申し上げるまでもなく、その存在の第一義に市民へのサービスの提供があります。職員も日々、その精神を胸に業務にまい進していますが、意志の疎通がうまくいかず、市民のみなさんにとっては納得のいかない案件が生じることもあるでしょう。そのような時は、ぜひ、広報広聴課までお考えをお寄せいただきたいと思います。住所、氏名の明記されたものであれば、市長名で回答させていただきます。

市民への的確な情報発信をすすめる広報係、情報をもった市民からの声を受け止める広聴係 ~ 市民と市役所との協力・協働の関係を維持、発展していくためにも窓口である広報広聴課の更なる充実を図っていくつもりです。

山陽有線放送が全国コンクールで優秀賞を受賞!!



▲左から村上さん、井上さん、河村さん

山陽地区の地域密着情報を放送している山陽有線放送電話共同設置協会が、平成20年度有線放送番組コンクール企画番組の部で優秀賞を受賞しました。同協会の受賞は3年連続のことです。今回は30年ぶりに復活した埴生芝居の準備から本番に至るまでの過程を取材した企画が高く評価されました。「3人で頑張ったことが、「優秀賞」という結果につながり、とても嬉しいです。これからも一丸となって頑張ります。」と同協会の井上さんは受賞の喜びを語りました。

「広報さんようおのだ」 2008/12/1 - 13 -